

B Lab、アート×サステナブル×テクノロジー×メディアを活用し、 ガーナの社会問題に取り組む「B Lab Ghana」を始動！

B Lab (iUの研究所、所長 石戸奈々子。以下、B Lab) は、アート×サステナブル×テクノロジー×メディアを活用し、ガーナの社会問題やその現状を世の中に広め、教育や雇用などの社会課題の解決に向けて活動するアフリカ初の拠点、「B Lab Ghana」を設置します。B Lab Ghana は、ガーナのスラム街に積み上がる先進国からの廃棄物でアートを制作し、販売した利益を活用して社会問題の解決を目指す美術家・長坂真護及び MAGO CREATION 株式会社の活動に共感し、連携することにより、社会的インパクトの創出のさらなる発展を目指します。



B Lab Ghana は、MAGO CREATION 株式会社と共に、ガーナのスラム街の環境・貧困問題に向き合い、「サステナブル・キャピタリズム (持続可能な資本主義) ※」の考えを世の中に広め、2030 年までにガーナ人 10,000 名の雇用創出を目指すために、アート、サステナブル、テクノロジー、そしてメディアを活用して社会課題解決を行います。活動の皮切りに、ガーナ人アーティストのギャラリーをメタバース上に構築し、販売収益をアーティストに還元する取り組みや、美術家であり iU 客員教授でもある長坂真護氏がデザインした SDGs キャラクターIP 「ミリーちゃん」を主人公にした教育コンテンツの開発を計画しています。

B Lab Ghana は、ガーナの社会問題に対し、持続可能な解決策を提供し、地域の変革を牽引するため、活動して参ります。

※ 1 サステナブル・キャピタリズム

長坂真護が提唱・推進するサステナブル・キャピタリズムとは、これまでの経済成長至上主義を見直し、経済、文化の発展と環境保全をバランスよく循環させる考え方です。従来の資本主義の枠組みにおいては、経済成長や利益追求が主眼とされ、社会的・環境的な課題が度々見過ごされることがありました。しかし、サステナブル・キャピタリズムでは、経済的な利益のみならず、社会や環境への影響を考慮し、より持続可能なビジネスモデルを追求します。

■ B Lab Ghana メンバー

B Lab Ghana は以下のプロジェクトメンバーで推進して参ります。なお、本プロジェクトと連携していただける方を募集しておりますので、興味・ご関心のある方はご連絡ください。

■ B Lab Ghana アドバイザー

長坂 真護 (MAGO CREATION 株式会社 代表取締役美術家, MAGO MOTORS JAPAN 株式会社 代表取締役, MAGO MOTORS Ltd. CEO)

■ B Lab Ghana オーガナイザー

石藤 創 (MAGO CREATION 株式会社 アート事業/NFT 事業/ミリーちゃんプロジェクト担当)

Godfred Nabow (MAGO MOTORS Ltd. Director)

ト部美緒 (株式会社 MediAlpha CSO、iU 学生)

プロジェクトメンバーより以下のコメント

アートとテクノロジーを活用したサステナブル・キャピタリズムの体現を Blab ガーナとしてスタートできることをとても誇りに思います。私達は長坂真護氏が創造したSDGsキャラクター「ミリーちゃん」を象徴として、学び・遊びながら社会課題を啓蒙していくコンテンツを企画・開発し、世界中のインフルエンサー、αZ 世代に共感の連鎖を起こしていきます。そして、2030 年、ガーナ人 10000 名の雇用創出に向けて精力的に活動していきます。

■ B Lab の概要

Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなで作るということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第 2 の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなで作ることを目指します。

<関連 LINK> <https://www.blaboratory.org/>

B Lab Launches “B Lab Ghana” to Address Social Issues in Ghana Through the Utilization of Art, Sustainability, Technology, and Media!

B Lab (iU’s research institute; Director: Nanako Ishido. Hereinafter referred to as B Lab) will be establishing B Lab Ghana, the first base in Africa that will utilize art, sustainability, technology, and media to raise awareness of Ghana’s social issues and their current state to the rest of the world, and work toward solving social issues such as education and employment. B Lab Ghana identifies with the activities of the artist Mago Nagasaka and MAGO CREATION Inc., who aim to solve social issues by creating art using the waste from developed countries that have piled up in the slums of Ghana and using the profits from the sales to solve social issues, and will be collaborating with them to further develop the creation of social impact.



B Lab Ghana, together with MAGO CREATION Inc., will utilize art, sustainability, technology, and media to solve social issues in order to address environmental and poverty issues in the slums of Ghana, spread the idea of “sustainable capitalism*” to the world, and create 10,000 jobs for the Ghanaian people by 2030. To kick off our activities, we plan to build a gallery featuring Ghanaian artists in the Metaverse and return the proceeds from sales to the artists, as well as develop educational content featuring the SDGs character IP “Milli-chan”, designed by artist and iU Visiting Professor Mago Nagasaka.

B Lab Ghana will work to provide sustainable solutions to social issues in Ghana, and lead the transformation of the region.

*1 Sustainable capitalism

Sustainable capitalism, advocated and promoted by Mago Nagasaka, is a way of thinking that re-evaluates the conventional idea of prioritizing economic growth above all else, and ensures a well-balanced cycle between economic and cultural development and environmental conservation. In the conventional framework of capitalism, the pursuit of economic growth and profit has been the primary focus, and social and environmental issues have often been overlooked. Sustainable

capitalism, however, seeks a more sustainable business model that considers not only economic profit but also social and environmental impacts.

■ B Lab Ghana members

B Lab Ghana will be promoted by the following project members. We are also looking for people who are willing to collaborate with this project, so please contact us if you are interested.

■ B Lab Ghana Advisor

Mago Nagasaka (Representative Director and Artist, MAGO CREATION Inc.; Representative Director, MAGO MOTORS JAPAN Co., Ltd.; CEO, MAGO MOTORS Ltd.)

■ B Lab Ghana Organizer

Hajime Ishido (In charge of the art business, NFT business, and the Milli-chan Project at MAGO CREATION Inc.)

Godfred Nabow (Director, MAGO MOTORS Ltd.)

Mio Urabe (CSO, OOO Co., Ltd.; Student at iU)

The project members have made the following comment:

We are very proud to be able to launch B Lab Ghana as an embodiment of sustainable capitalism through art and technology.

We will plan and develop content to educate people about social issues through learning and play, using the SDGs character Milli-chan created by Mago Nagasaka as a symbol, and create a chain of empathy among influencers and the Gen Z and Gen Alpha around the world. We will also work diligently toward creating 10,000 jobs for the Ghanaian people by 2030.

■ Overview of B Lab

Despite its label as a research institute, B Lab, which takes its name from the initial for Beyond, Borderless, and Breakthrough, is a participation-based platform that connects universities, research institutes, communities, and human resources worldwide, and fuses the expertise and knowledge of numerous people to create new technologies, services, content, businesses, and societies. The scope of our activities is vast, ranging from development of technologies to solving social issues and creating new services, but the common denominators are social implementation and collective creation. Regardless of whether you are a father, mother, elderly woman, or child, anyone can be a researcher. Anyone who becomes a Lifelong Seeker will also be issued their own Secondary Researcher business card. We aim to build a new society by connecting all people, including users, in a social, open, and participatory environment, matching issues, ideas, technology, money, skills, and people to create an interesting future together, from small creations to large creations.

(Related link) <https://www.blaboratory.org/>

<B Lab 概要>

VISION

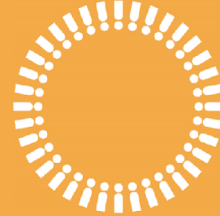
AI/IoT等の技術が代表するSociety5.0の入り口に立ち、新しいものを生み出す機関がほしい。そんな矢先に人類を襲ったコロナにより、withコロナ/afterコロナの新しい世界をつくるのが命題となっています。

これまで、国、大学もしくは企業の研究所が個別に対応してきました。しかし、高度なアカデミズムに立脚した専門性の高い研究機関とは別のアプローチが必要なのではないのでしょうか。

ユーザーを含め全てがつながり新しい社会を構築するようなラボ。
ソーシャルで、オープンで、参加型で、様々な知見や多くの人の得意技を融合させて、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生んでいくプラットフォーム・増殖炉をつくりたい。

テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項はデジタルテクノロジーで、社会実装で、みんなで作るということ。

ソーシャルで、オープンで、参加型な新しい研究所、B Labを開始します。



CONCEPT



おもしろい未来の創造

論文を書くだけでなくおもしろい未来をつくり、社会実装することを重視します。課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人とのマッチングの場でもあります。日常生活での工夫・発明や今までにない新たなビジネスの創出など、小さな創造から大きな創造まで、おもしろい未来をみんなで共創します。

世界中の大学・研究所のコミュニティ

世界100の研究所と連携し、組織の枠を超えたコミュニティを創出します。

世界各地がフィールド

バーチャル・リアル問わず世界各地にラボを設置します。

だれでも研究員

100万人研究員計画。おばちゃんも子どもみんな研究員。Lifelong Seekerになり、第2の研究員名刺を持ちます。

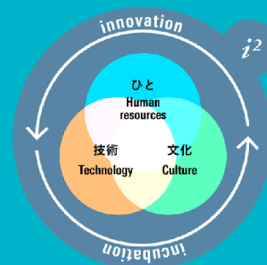
FOCUS

ITやAIなどの「技術」、
ポップカルチャーなどの「文化」、
そして「ひと」

3つの軸がイノベーションを起こし、
3つの軸をインキュベートし、さらなるイノベーションを
誘発する。

イノベーション×インキュベーション=i²
技術、文化、ひと。
みんなで作る、そだてる。

B Labはそのための場、コミュニティ、ネットワークです。



PROJECTS AT HAND



B Lab 所長：石戸奈々子

(慶應義塾大学教授、
CANVAS代表、超教育協会理事)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。

総務省情報通信審議会委員など省庁の委員を多数歴任。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

B Lab WEB SITE:

<https://blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■学長



中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

- 1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省
- 1998年、MITメディアラボ客員教授
- 2002年、スタンフォード日本センター研究所長
- 2006年、慶應義塾大学大学院教授
- 2020年4月より、iU学長に就任

■設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：744名 ・専任教員数：28名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ビジネス×ICT×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL：03-5655-1555 E-mail：info@i-u.ac.jp